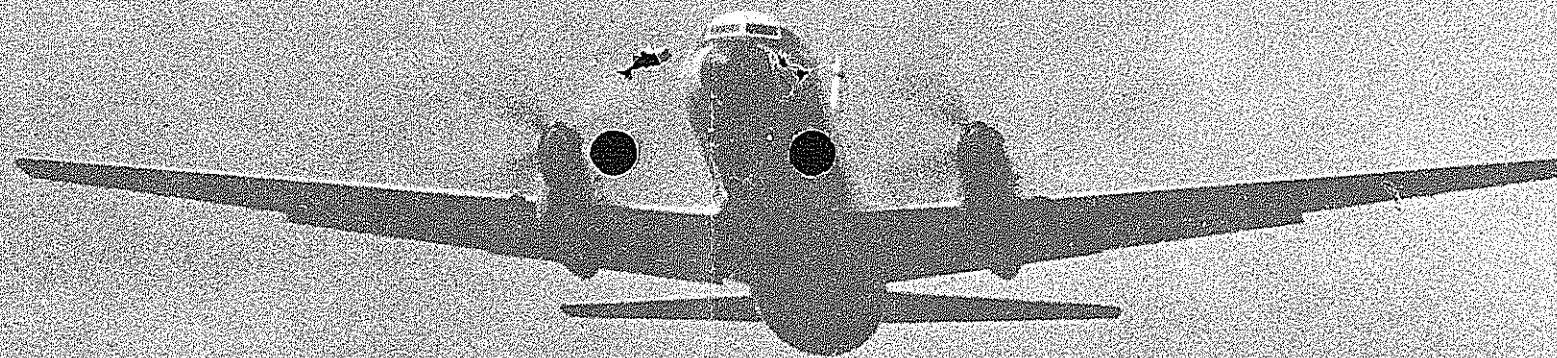
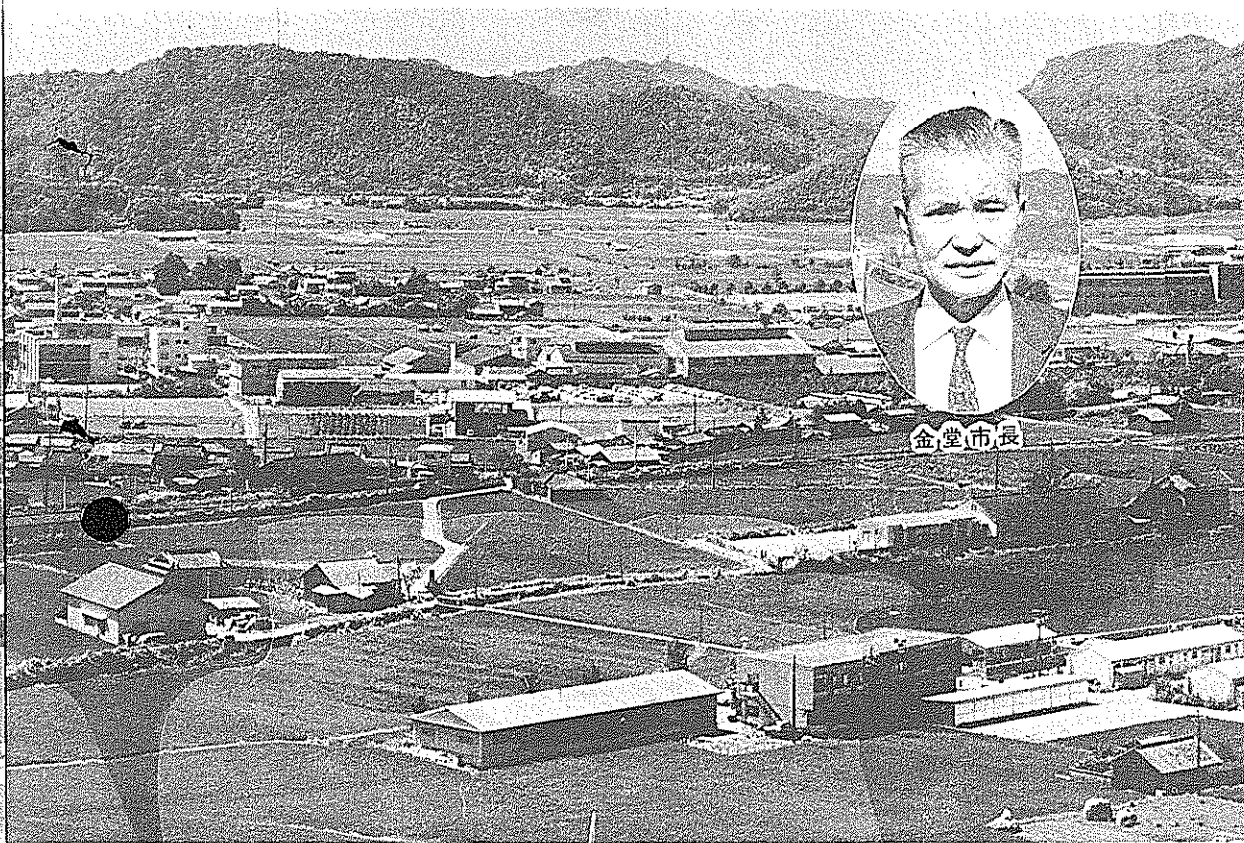


報 市
市 人 心



市制 10 周年特集号



金堂市長

自然に生きる

産業都市に

市長 金 堂 久 喜

私たちの住む郷土南国市が新しい田園都市をめざしてから、はや十年、これまで、財政の乏しきを乏しきとせず全市民の総力によって市の基礎が築かれ、明日への希望ある日を迎え得ましたことを市民のみなさんに厚く感謝いたしますとともに、西村、池川二代市長をはじめ、先輩諸兄に対し深く敬意を表します。

ここに、市政十年の感激をあらたに、宇宙時代の二十一世紀に向って、飛躍発展をめざした新しい生活圏を創造する長期計画を樹立しこれを計画的に、しかも確実に実施し、西日本一の田園都市への建設に向って、市政をすすめてゆきます。

幸い市発展の母胎である物部川水利開発事業が、十五億円余りの工費で昨年より実施されており、国分川とともに豊かな水資源の供給を可能ならしめ、農工業ほもとより、生活用水への利用など、市の未来にはてしない夢を大きく秘めています。

最近、米価問題から端を発して米作転換が叫ばれるようになり、これからの農業のあり方をじっくり考え、誤まりのない方向にむかってゆくべき重大な岐路にたっており、そのためこんごの農産物の推移と需要は、いちじるしく変動をみせてくることが考えら

南国市政十周年を、四万市民の皆さんとともにお祝い申し上げます。

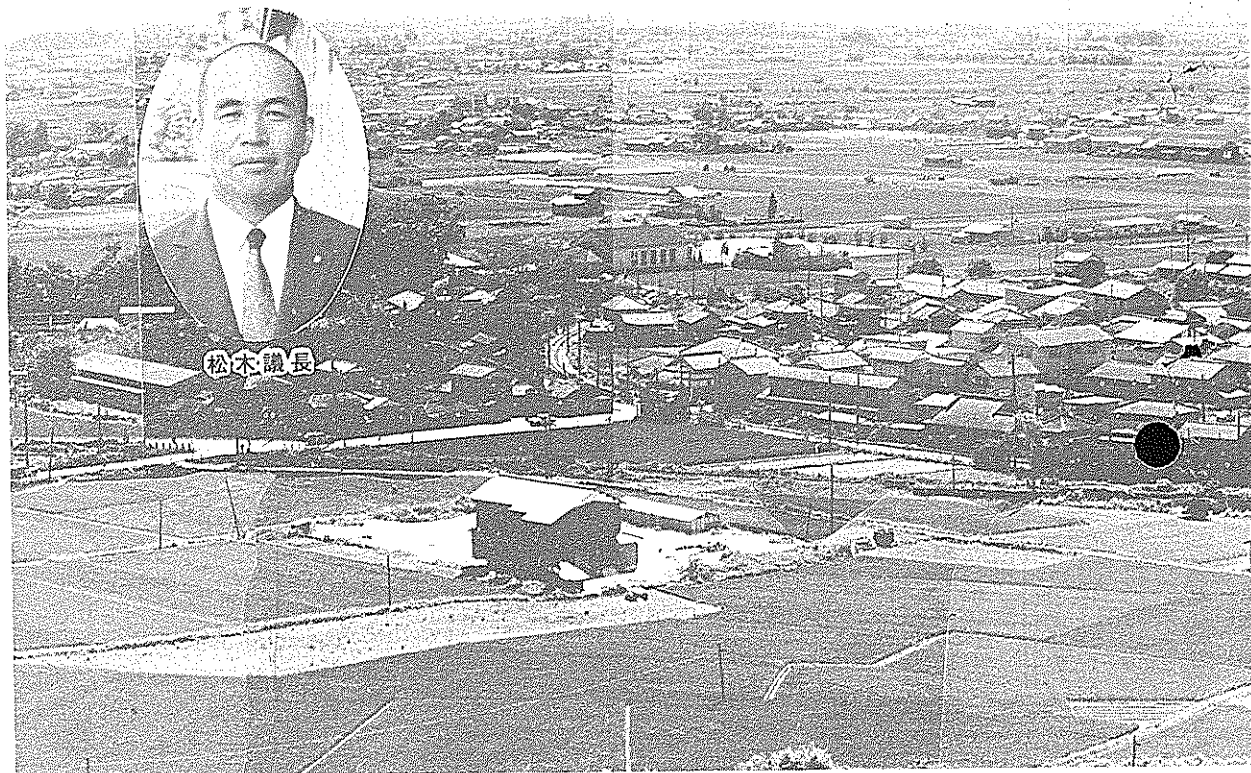
いま過ぎ去った市政を振り返りますとき、合併以来赤字財政に悩まされながらも、新興田園都市として積極的な施策により黙々と堅実に歩み続けて十年、おかげさまで本市もようやく基盤が確立、これからは文化の香り高く、活気に満ちた伸びゆく南国市の建設へ踏み出すときになりました。

この機会に、こうした輝かしいあすへの発展の基礎を築き上げられた合併以来の先輩のご功績をたたえ、ご辛苦の数々にあらためて深く敬意を表します。

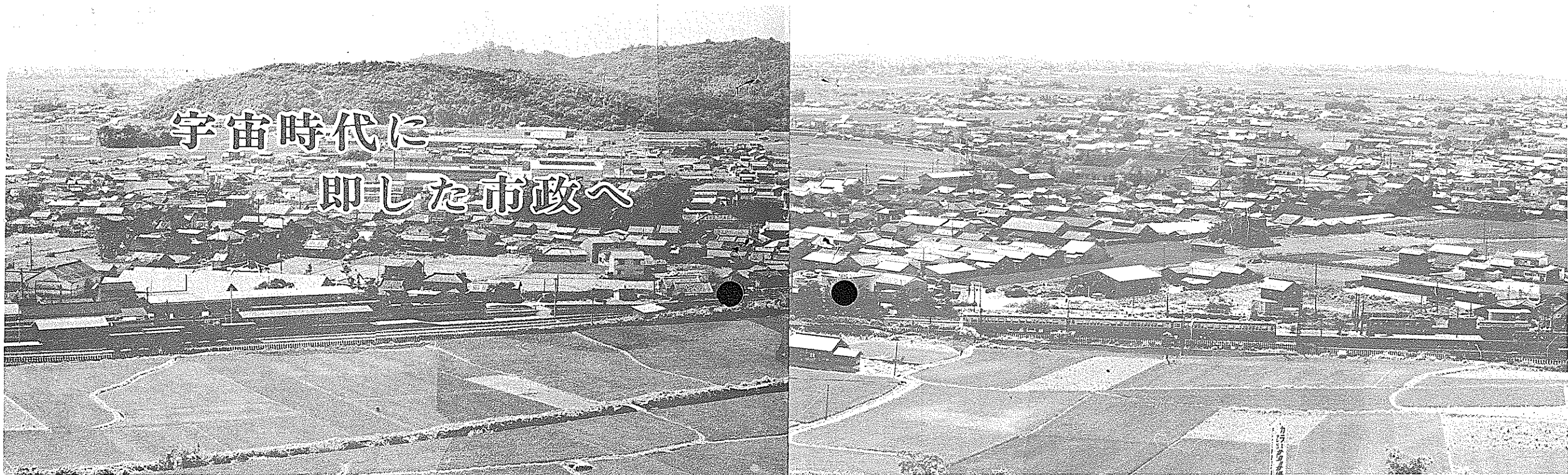
科学文明の進歩はついに人間を月に送り込み、地球が外から見られる宇宙時代にはいりました。この新しい時代の中で、私たちの生活環境も大きく変わりつつあります。

本市は高知市のベッドタウンとして、中央部の過密化により人口は増加し、また高知県の中央部広域都市計画圏の中で農工一体の生産都市として、また高知県の交通の要衝として急速に発展しようとしています。

市民の皆さま、この記念すべき日を契機として成るは成るの日に成るにあらざることをあらためて確認し、私たちに課せられた責任の重大さに思いをいたし、皆さまより、より多くのご指導とご協力をいただき、ともに手を携えてあすの市政発展のため力一ぱい前進しようではありませんか。



松本議長



宇宙時代に 即した市政へ

市民感情を除去するために、現在、十か年にわたる市の振興計画の立案をしており、その時期の財政と適合した諸施策を計画的に実施するため、こんごはこれが実施計画（二）三年ごとに修正）によって計画的に、かつ、財政能力に応じ順序よく完成させてゆくことによって、行財政の均衡を保ってゆくこととなります。

（これからの）市政は

健康で明るい力ある市民生活のできる行政を基調に、地の利を生かした産業の開発、

教育の振興と人材の育成、道路網の拡充整備、「希望の家」など福祉施設の早期実現に努め、こんごの飛躍発展を期してゆきます。市制十周年にあたって、市民のみなさんに私の所信の一端を申し述べ、こんごのご指導、ご協力をお願い申し上げます。

科学の発展は新しい宇宙時代を呼び、天体開発が論議される新時代に即応した行政の推進とあいまって、わが南国市を力強く築き、明るく活気に満ちた、

公害のない産業都市。

緑と、太陽と、水の豊かな

自然に生きる都市、南国。

このような町づくりに向って、ともに前進をさせましょう。

前進する市政へ

市議会議長 松木 二郎

れます。しかも新都市計画法の施行に基き、農業地域への企業投資が急速にすすみ、**●**築紡績、ミロク製作所の工場新設など第二次産業の進出にとまない、協和、鈴江など中小企業を一九とした〃農工一体の経済社会の建設〃に邁進すべきときだと考えています。

とくにこれから真剣に取り組んでゆかなければならないものに広域行政があります。共通的な施策は自治体の境界を境界とせず生活圏を範囲として考え、よりよい行政効果のあがる政治への胎動をしています。

そのため、視野を広め、住民の福祉向上のための社会創造を培ってゆき、とくに市民生活のうえに欠くことのできない、し尿処理やじん芥処理の問題などは、周辺地域との広域行政のなかで早期に解決を見出し出てゆきたいと考えています。

（市の象徴）

として、また、市民生活のセンターでもあり、市政の殿堂といえる市庁舎の建設は、明四十五年度完成を目的にこれが自主財源の確保に全力を結集し、市民のいこいの場というべき、明るい庁舎の実現も夢ではない確信をもっています。市庁舎の建設は市民サービスの向上、事務能率、人事管理の面からみても、優先的に着工する決意を固め、いまその準備をすすめています。

（財）（政）（難）（の）（克服）（は）

歴代市長の大きな施策の一つでもありいろいろ努力され、努力してまいりました。

とくに、これまで無計画的、陳情優先行政とまでいわれている